

## 9 植物の管理

### (1) 樹木（高木）の管理について

樹木（高木）の管理は原則として横浜市が実施します。  
実施回数は特殊な場合を除き、4～5年に1回程度となります。

#### 樹木管理の基本方針

横浜市は、公園の樹木を次のような考えで管理しています。

樹木の健全な成長を助けるためにせん定等を行います  
利用者や歩行者の邪魔になるような低い枝（下枝）はできるだけ撤去します。  
民地への越境枝、建物や施設に接触する枝（支障枝）はすみやかに撤去します。

#### 樹木をせん定する時期

樹木の管理は、樹木の成長が止まった時期に実施しないと樹木を傷めてしまう恐れがあります。

せん定に適した時期は樹木の種類などによって異なるため、それぞれ適した時期に実施するようにしています。

#### 樹の種類ごとの管理に適した時期

針葉樹：芽が出る前（3～4月）または冬を避けた時期（10～11月）

落葉樹：落葉したあとの休眠期（11月～2月）

常緑樹：新芽が伸び終わった後（6月～7月）と  
成長が休止する時期（9月～10月）

樹種	せん定の時期												備考	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
針葉樹			■	■	■	■					■	■	■	
落葉樹	■	■	■	■				■	■	■			■	■
常緑樹						■	■	■	■	■				

■ ■ ■ 細い枝を対象にした軽いせん定のみ

### 【常緑樹と落葉樹のせん定時期の違い ～ どうして一度にやらないの？～】

初夏、常緑樹のせん定が始まるころになると、市民の皆様から「公園の木の枝のせん定に一部やりのこしがあるんですが・・・」というお問い合わせをいただきます。

お話を伺うと「クスノキのせん定は終わったのに、ケヤキがそのままになっています」とのこと。でもこれには理由があるのです。

初夏から梅雨にかけての季節は、新芽を伸ばし終わったクスノキなどの常緑樹がひとやすみをする時期ですが、ケヤキなどの落葉樹にとってはまさに成長の真っ盛りになります。このような時期にせん定をすると樹全体が枯れてしまいかねません。

ところが常緑樹はその逆。もともと暖かい地方の植物ですので、真冬にせん定をすると寒さや乾燥によって害を受けてしまいます。

そこで同じ公園の中でも常緑樹のクスノキは初夏、落葉樹のケヤキは冬という具合に季節ごとにわけて、せん定を行う必要があるのです。

**森づくりボランティア育成支援制度で雑木林や竹林のある公園愛護会の活動を支援します（ 5 - 10 , 3 - 5 ）**

## (2) 中低木の管理について

中低木は刈り込みバサミやヘッジトリマーなどを用い、刈りこんで管理をします。



刈り込みバサミによる刈り込み

### 刈り込みの効果

樹木の形が整うことで、景観や見通しが良くなります。  
花芽の発芽を促され、翌年以降の花つきが良くなります。  
風のとおりや採光が良くなることで、病虫害の防止になります。

### 刈り込みの時期（市による管理）

横浜市では、中低木の刈り込みを1～2年に1回程度、6～7月初旬に実施しています。（条件により異なる場合があります）

特に近年は公園内の見通しを良くしてほしいというご要望をいただくため、強めの刈り込みを行うことが多くなっています（2-1）。

### 中低木類の管理

Aコース対象

管理の講習を行います

サツキやアジサイなど、花のつく中低木は、つぼみのもととなる「花芽」がつくまでの間に刈り込みを行うと、多くの花を咲かせることができます。

こうした中低木の手入れを愛護会でおこなって毎年きれいな花を咲かせている公園もあります。きめの細かい管理で、毎年きれいな花を咲かせる公園に、また、見通しを良くすることにより、安全な公園づくりを目指す愛護会に中低木の管理講習を実施します(2-1、5-10)。

講習では、安全に活動できる高さ（脚立に登らなくても良い高さ）までの樹木管理の方法をだれでも簡単に楽しくできるようなコツを伝授します。



## 【植物のごみのリサイクル】

樹木の剪定や刈り込みを行うと必ず発生するのが植物の枝葉です。これらの枝葉は通常「もえるごみ」として回収、焼却をしていますが、枝を細かく砕いてチップにすることで堆肥の材料や花壇の土壌改良剤などとして再利用することができます。

各区にある資源循環局事務所では「せん定枝チップ機貸し出し事業」として、このチップを作る機械を無料で貸し出す事業を行っています。

機械は電話で事前予約、申し込みができるということですので、愛護会の活動にもぜひご活用ください。

**無料で貸し出す「せん定枝チップ機」は2種類**

各事務所に中型機1台、小型機1台を用意しています。中型機はガソリンエンジン式で処理能力が高いことが特徴です。(最大処理径4.5cm)

小型機は家庭用電源で使用できる手軽さが特徴で、持ち運びも容易です。(最大処理径3cm)

中型ガソリン式

小型電気式

資源循環局ホームページより

### 資源循環局事務所の連絡先

区	事務所名	電話番号
鶴見区	鶴見事務所	502-5383
神奈川区	神奈川事務所	441-0871
西区	西事務所	241-9773
中区	中事務所	621-6952
南区	南事務所	741-3077
港南区	港南事務所	832-0135
保土ヶ谷区	保土ヶ谷事務所	742-3715
旭区	旭事務所	953-4811
磯子区	磯子事務所	761-5331

区	事務所名	電話番号
金沢区	金沢事務所	781-3375
港北区	港北事務所	401-3133
緑区	緑事務所	983-7611
青葉区	青葉事務所	975-0025
都筑区	都筑事務所	941-7914
戸塚区	戸塚事務所	824-2580
栄区	栄事務所	891-9200
泉区	泉事務所	803-5191
瀬谷区	瀬谷事務所	364-0561

### (3) 害虫について

#### 毛虫について

公園の樹木に毛虫などの害虫が発生すると、その姿から、「すぐに駆除してほしい。殺虫剤をまいてほしい」という市民の皆さんからの要望が寄せられます。

平成15年度に農薬取締法が改正され、公園でも農薬（殺虫剤も農薬の一部です）は極力使わないこと、やむを得ず使う場合も十分な注意をすることなどが明示されました。ここでは夏に発生する害虫(毛虫)とその駆除に関する注意点をご紹介します。

#### 【農薬を使わない駆除を】

\*毛虫の幼生が、一箇所に群生しているとき、枝ごと切りとることで、効果的に駆除することができます。

#### 【こんな虫には気をつけて】

\*「要注意」の毛虫は、大きくなると手に負えなくなることもあります。そんな場合は無理に駆除せず、土木事務所（大規模な公園等の場合は公園緑地事務所）にご相談ください。

#### 【害の無い毛虫もいます】

\*嫌われ者の毛虫ですが、毒があるものはほんの一部の種類だけです。公園の利用に影響が無い所に出た毛虫達は「自然の一部」ということで、そっとしておいてやっていただけないでしょうか？

## WANTED!

こんな毛虫には**要注意!!**

チャドクガ(幼虫)



発生時期：4～5月頃と7～9月ごろ  
いる所：ツバキ、サザンカ、ヒメシャラなど  
特徴：幼虫は葉の裏に群生する  
被害：さされると激しいかゆみ

イラガ(幼虫)



発生時期：6～10月  
いる所：カキ、サクラ、ウメ、カエデ、ヤナギなど  
特徴：とげを持つ毛虫。集団で食害する  
被害：とげに刺されると鋭い痛み

## ハチについて

ハチは、6月頃から巣を作り始め、10月頃まで活動しますが、9月頃になると巣が大きくなり攻撃性が強くなるため、ハチに刺される事故も多くなります。

ツツジの植え込みの中や木の枝の茂みの陰など、一見わかりにくい場所に巣がある場合が多いですので、植え込みや茂みからハチが出入りしていないかよく見てから、活動を始めるようにしてください。また、ハチの攻撃性が高くなる黒い服や花の香りの香水はさけてください( 5 - 2 )。

ハチの巣を見つけた場合は、土木事務所(大規模な公園等の場合は公園緑地事務所)へご連絡ください。

### 【ハチに刺されないための対策】

- ・ 巣のそばに近寄らない。
- ・ ハチは黒色に対して攻撃性を示すので、できるだけ白色系統の衣服と帽子を着用する。
- ・ 強い香りのする香料はつけない。
- ・ ハチがそばに飛んできたら、姿勢を低くして静かにその場を離れる。

### 【ハチに刺されたときは】

- ・ すぐにその場を離れる。
- ・ 水で洗い流し、冷やす。
- ・ 気分が悪くなったり、動悸がする場合はすぐに病院へ。そうでなければ、抗ヒスタミン軟膏を塗る。

### 【主なハチの種類】

#### スズメバチ

巣の形状：ボール状。縞模様がある。

出入口は1箇所。

特 徴：攻撃性が高い。



#### アシナガバチ

巣の形状：お椀を伏せたような形。

巣穴がたくさん開いている。

特 徴：攻撃性は低い。

